

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2単位 経済	経済原論Ⅱ	山崎将太	2年次	秋

授業のキーワード	消費と生産の理論・完全競争市場・不完全競争市場
授業の概要・目的	一般に、経済学はミクロ経済学とマクロ経済学に大別されます。この講義では、ミクロ経済学とよばれる分野の解説をします。
履修のアドバイス・前提科目等	予備知識は不要です。経済の仕組みを学びたいと思う気持ちが大切です。図を多用し、数学は一切使いません。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	経済の仕組み	経済活動を行う、3つの経済主体(家計・企業・政府)について講義します。	第9講	不完全競争市場1:独占と寡占	独占市場と寡占市場について説明します。
第2講	ミクロ経済学とは	ミクロ経済学が取り扱う範囲、分析手法などについて説明し、この講義全体の構成を説明します。	第10講	不完全競争市場2:ゲーム理論	不完全競争市場2:ゲーム理論
第3講	消費者需要の理論1	効用の概念、無差別曲線、予算制約線などについて説明します。	第11講	市場の失敗	市場は優れた資源配分メカニズムをもっていますが、うまく作用しないケースがあります。昨今、「市場至上主義」などという言葉も耳にしますが、市場原理の限界についても理解をしていきましょう。
第4講	消費者需要の理論2	価格や所得が変化すると需要量にどのような影響があるのでしょうか?様々なケースを考えてみましょう。	第12講	不確実性	パチンコ・競馬・バカラにポーカー・・・様々なギャンブルがありますが、共通しているのは、「将来は誰にもわからない」ということでしょう。ここでは「何が起こるかわからない」将来を経済学ではどのように考えているのかみていきましょう。
第5講	生産の理論1	生産とはどのようなものなのか?生産要素、技術、利潤、費用などについて説明します。	第13講	不完全情報	商品を購入する際、売り手と買い手の持っている情報の量には「差」があります。このような場合、市場はうまく機能するのでしょうか?情報量の差がもたらす経済学的な意味について探っていきます。
第6講	生産の理論2	費用に注目して説明します。	第14講	異時点間の資源配分	若年世代と老年世代、世代間で資源(たとえばお金)が移動する場合、どのような問題が発生するのでしょうか?年金問題、財政問題などはまさに異時点間の資源配分に関する問題です。これについて考えてみましょう。
第7講	完全競争市場:需要と供給の世界	需要(消費)と供給(生産)の関係を考えてみましょう。	第15講	試験	

第 8 講	需要と供給で 考える	学習した需要曲線、供給曲線で様々な経済現象を分析してみましょう。	評 価 方 法	出席・平常点 30%+定期試験 70%
	備 考 (関連する資格・試験等)	講義は、標準的な経済学部1年生が学習する内容で、経済学の初級レベルです。また、将来的に公務員試験、各種試験（中小企業診断士・証券アナリスト・公認会計士など）に挑戦しようと考えている受講生、経済学部への編入を希望する学生は特に受講することを勧めます。		
		使用する教科書（必ず購入してください）	参 考 文 献	
		使用しない。毎回レジユメを配布します。	伊藤元重（2004）『マイクロ経済学（第2版）』日本評論社。	